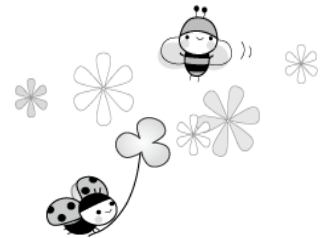


あっという間に桜の季節が過ぎ去り、新緑の5月になりました。

始業式、入学式から新しい環境、新しい人間関係の中、子供たちはそれぞれ頑張っていました。そして、ゴールデンウィーク後は、緊張から解放されてきて、ありのままの自分を出しやすい時期になってくるかと思います。何かトラブルや困ったことがあってもそれは学びのチャンスです。上手な自分の出し方を教えていきたいと思います。

さらに5月は学校によっては遠足や運動会等、普段と異なる行事もあります。「つらい」「疲れた」の表現が上手にできずため込んでしまっていて、適切ではない言動になってしまうことがあると思います。子供たちがその気持ちと向き合い、上手に対応できるように、一緒に考えたいと思います。



5月の指導内容

	基礎的指導	発展的指導
個別学習	<ul style="list-style-type: none">自己紹介カード個に応じた指導	<ul style="list-style-type: none">ひばりに来る目的・目標決め個に応じた指導
グループ学習	<ul style="list-style-type: none">☆キーワード「すなお」感覚への気付き 「どんな感じ?(触覚)」「どんな音?(聴覚)」「よく見よう(視覚)」ソーシャルスキル 「いろいろな挨拶」	<ul style="list-style-type: none">言語のやりとり「日直のスピーチ」自己理解、他者理解 「ひばりに来る目的」「目標発表」運動・動作の基本技能 「体力テストでの体の動かし方」相談の仕方 「ペアで神経衰弱」「オリジナル〇〇を作ろう」

※この中から児童の実態に合わせて活動を選んで学習します。

☆ お知らせ ☆

☆ひばりメール登録のお願い

保護者会でお知らせしたメール登録について、ご協力いただきありがとうございました。登録状況の確認をするために、5月24日(水)にテスト配信を行います。登録がまだの方は、19日(金)までに登録をお願いします。

☆「ひばり」の個別指導計画作成について☆

保護者の方からは「保護者の願い」を提出していただき、個別指導計画の貴重な資料となるご意向を伺いました。在籍校担任の先生からも、在籍校の個別指導計画を立てるときにお声掛けいただき、お考えを伺って「ひばり」の計画を作成していきます。

☆4月の指導より☆



◎「ひばり」の約束「手を挙げる」「何かしたい時は、先生に聞いてから」

言いたいことややりたいことがあったときに後先考えずに反射的に行ってしまうことは、子供たちのトラブルの原因として多いものの一つです。「ひばり」の授業中でもやりたくなると止められない場面がありました。

「ひばり」の約束の中で「やりたいことがある時は先生に聞いて、許可を得てからにする」ことを確認しました。やる前に言葉にすることで、頭の中で考える時間が生まれます。考えることで反射的に行動することを少しずつ調節できるようにすることを意図しています。

はじめは「先生に言ってからする」ことを大切にしています。言えたらある程度のことは許可しています。とても素直な子供たちですので、明確なルールを示されると、反射的に行動していた子供たちも「～していいですか。」と言ってから行動するようになってきました。段階に応じて徐々に「～してからね」等の制限をしながら、適切に行動できるようにしていきたいと考えてます。



ひばりコラム

「ひばり教室に来ている理由」

ひばり教室での学習が始まりました。5月には、子供たちに「ひばりに来ている理由」を発達段階に応じて考えさせています。「楽しいから。」「勉強を頑張るため。」「みんなと一緒にできるようになる。」とそれぞれ答えてくれます。

どの考えも受け止めながら、「ひばり」教室としては

「できること(強み)を伸ばして、苦手なことは少しずつできるようにしていくところ」

と伝えています。

苦手なことに取り組むことは誰でも難しいものです。苦手だからと言って頑張らせすぎてしまっても、「どうせやってもむりだ…。」と自分を否定的にとらえてしまうことにつながります。

「ひばり」教室では、まずは「自分って、できることがあるんだ!」という自己有用感や「こんないいところがあるんだ!」という自己肯定感を実感させ育てていくことで、苦手なことに向き合うための土台作りをしています。子供たちが前向きな気持ちで学習していけるよう、一緒に子供たちのよさを見つけていきましょう。

※5月の指導で「ひばりに来る目的」について取り組みます。お子さんから「ひばりに来る目的」を聞かれたときは、お家の方の考えや思いを話していただけますようご協力をお願いします。そのときはぜひ、お子さんの「よいところ」も伝えてください。